

平成30年10月9日(火) 8:50~
JR東日本柏グラウンド

2018年度東京都企業秋季大会
準決勝

VS

鷺宮製作所

先発の玉熊は5回まで走者を出しながらも無失点に抑えていたが、6回、2本のヒットと四球で2死満塁のピンチを招くと、レフトへの満塁ホームランを浴び一気に4点を失い1点差に詰め寄られる。

7回からは2番手として三宮が登板、先頭打者に2塁打を打たれその後1死3塁とされると、犠牲フライで1点を失う。

8回からは3番・古田が登板。その8回にヒットと送りバントで1死2塁のピンチを招くと、2死としたあとタイムリーヒットを打たれて1点を失いついに1点差まで追い上げられる。しかし9回、ヒットのランナーを許したものの最後は尾嶋が盗塁を刺して試合終了、7-6で逃げ切り勝利した！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
鷺宮製作所	安打	0	1	1	1	0	3	1	2	1	10
	得点	0	0	0	0	0	4	1	1	0	6
明治安田生命	得点	0	1	3	1	0	2	0	0	X	7
	安打	0	1	3	1	0	4	0	1		10

2回、先頭の4番・大野が左中間へ先制のソロホームラン！この試合も先制点を奪う！
続く3回、9番・木田のヒットで出塁すると、1番・新城の当たりを相手がエラーしチャンスを広げると、2番・宮川のタイムリーヒットで2点を追加、さらに3番・佐藤のライト線3塁打で宮川が生還しこの回3点を奪う！

4回、8番・吉田のライトオーバー3塁打と相手投手の暴投でもう1点追加、5点差までリードを広げる！

1点差に追い上げられた直後の6回、先頭の4番・大野がヒットで出塁すると5番・道端の送りバント、6番・竹内のヒットで1死1、3塁とチャンスを拡大する。ここで7番・泉澤が左中間を破る2点タイムリー2塁打を放ち再び点差を3点に広げる！

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁					
1	4	新城	新宿支社	4	4	0						1			0.000
2	8	宮川	上野支社	2	2	1	1					2	1		0.500
	9	小川	町田支社	2	2	0									0.000
3	8	木内	八王子支社	0	0	0									#DIV/0!
	7	佐藤	所沢支社	4	4	1			1		1				0.250
4	3	大野	池袋支社	4	4	2	1			1	1				0.500
5	2	道端	丸の内支社	4	3	1	1						1		0.333
	R	手銭	総合法人第三部	0	0	0									#DIV/0!
6	2	尾嶋	広域組織法人部	0	0	0									#DIV/0!
	DH	竹内	町田支社	3	3	1	1								0.333
7	H→DH	井村	新宿支社	1	0	0						1			#DIV/0!
	9→8→9	泉澤	武蔵野支社	4	4	1		1			2				0.250
8	6	吉田	総合法人第五部	4	3	2	1		1		1	1			0.667
9	5	木田	所沢支社	4	4	1	1								0.250
計				36	33	10	6	1	2	1	6	3	2	1	0.303

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	玉熊	千代田支社	○	6	26	93	6	6	2	4	4	6.00
2番手	三宮	横浜支社		1	4	17	1	0	0	1	1	9.00
3番手	古田	立川支社		2	8	37	3	0	0	1	1	4.50
計				9	38	•	10	6	2	6	6	6.00